

会議録

1. 会議の名称 図書館協議会
2. 開催日時 令和3年6月21日(月)午後1時30分～3時
3. 開催場所 熊取町立熊取図書館 2階ホール
4. 議題 案件1 第4次子ども読書活動推進計画について
案件2 今後の図書館サービス(コロナ禍での利用促進)について
案件3 その他
- 5 公開・非公開の別 全部公開
- 6 傍聴者数 1人
- 7 審議会等の概要

●案件1について

【事務局からの説明】

第4次子ども読書活動推進計画の策定にあたり、国の基本的な計画や大阪府の計画との整合性を保つため、今後、国及び大阪府の計画策定後、本町の計画策定の時期を調整し、計画全体を見直す方向で、今年度に本町の第4次計画を策定予定。策定までのスケジュール、計画案の内容について説明。

【委員からの主な意見等】

○SDGsについて、18の項目が自分たちの生活のどの部分がどの部分に関連していくのか、子どもたちにとっては無関心ではいけないと思うので、そういう国際的な取り組みを、計画のどこかで図書館・教育でどういうふうに取り組んでいくかという方向性ぐらいは見せておく必要がある。これから5年先の令和8年度になると、国レベルで取り組みが進んでいくと思われる。

○今GIGAスクール構想で、タブレットが子どもたちに渡されているが、どういうふうに使って調べ学習で活かしていくか、学校図書館で司書がそれをうまく運用するところまでいっていないのではないのか。

○スマホ・タブレットや電子図書は、子どもたちの発達が止まってしまうおそれがあるので、活字を読む子を育てる、活字を読んで楽しむ子どもを育てるところが基本でないといけない。

○子どもに興味を持ってもらうきっかけはできるだけ早いほうがいい。乳幼児の頃に絵本になじんで、絵本が自分のおもちゃの一つに感じるようになるのがまず一番大事。小・中・高校になると、現在はス

マホや SNS に向かい本から離れて行ってしまう傾向があるので、それまでに興味を育ててあげて、自分の好きなものは何か、また、そこを深く追求できるように大切にすることが大事だと思う。

○親は子どもと図書館と一緒に行って、また一緒に読むことが大事なので、子どもにだけでなく、大人も取り込めるようにすればいいと思う。

○フェイクニュースかファクトを見極める力をつけるには、調べる学習は大事だと思う。この計画の拡充のところで、令和元年度は 13%の参加だが、これからどんどん広げていって欲しい。

○障がいのある方が、図書館にどうアクセスするかとかどう貸出するとかだけでなく、それに加えて本を通して障がいのあることとか周囲の人がどう関係性をうまく作っていけるかとか、本をどう活用できるかというところまで、一緒にお伝えしていただいた方が熊取の良さを活かしていけると思う。

○1 ページ目の「子どもを読書の活動を推進する意義」のところでは、子どもたちはどう生きていくかみたいなのが書かれているので、社会をどういい方向に持っていけるかというようなことについても図書館が役に立っていけるようにというような表現があってもいい。図書館で情報を得てどう行動するかという点でも、図書館がいろいろできるところが多いのではないかな。

○今の社会を作っている中で銀行の ATM を含めて、ほとんどのシステムを作っているのがもはやゲーム世代。ゲームが得意だったりゲームばかりやっている人が今の世の中の仕組みを作っているの、そこを否定するのではなくて、その人たちとどう付き合っていくか、どう生きていくかなので、多分動画か活字かというあたりでも活字だけでは戻れないと思うので、どう付き合っていくのかというあたりなのかなと思う。

○ヒトになるにあたって獲得してきたプロセスを失った学校になると、ヒトが人間になっていくプロセスを欠落したまま人間形成してしまうというようなことになるので、改めて電子化された文化以前の社会が何を獲得してきたかを失わないことが重要。

○年表を書くとき西暦を併記するか西暦にしてもらわないと時間の流れがわかりにくい。

○これから熊取の学校図書館を充実させてももっとも授業に役立つような図書館するためには情報化しかないが、そこで行き詰まっている。子どもたちにはタブレットを使って情報を取りましようと言っているのに、学校図書館が全くその機能を果たせていなかったら意味がない。だから具体的に、例えばこれを中学校 3 校でやろうと思ったらどれぐらいの予算がかかって、それをやることによって授業にどのぐらい反映されるのか、今の子どもたちが進めていくタブレットを使ったいろいろ情報収集するのがどのぐらい役立つのか、或いは、北小と北中はいい学校図書館活動しているから、小学校 1 校中学校 1 校連携で、小学校で情報化を活用した司書と先生と子どもが連携した授業が進められたら、中学校になったら子どもたちがどれぐらい活用できるか、ただネットにつなげるだけではなくて資料にどうつなげていくかなど、具体的な案を示さないと、ただ情報化や活性化する事は大事と何年もうたっているだけでは進まない。

●案件 2 について

【事務局からの説明】

利用を増やす意見・アイデアについて考えていただくにあたり、熊取図書館の現状(平成 29 年度から令和 2 年度の利用の推移及び令和 2 年度の図書館事業実績)について報告。

【各委員からの主な意見等】

○SNS で文庫(他市で開設)が開いていることを知って、遠くからも来ている。ただ来たとき本を読んであげるだけでなく、手間と時間がかかるが、その人に寄り添ってあげる。すると「あそこに行ったら相談にのってくれるよ」「子育てでイライラしているけど一回行ってみようか」となっている。やっぱりつながってあげること、つなげてあげることが必要。

○パフォーマンスをしている方やお店をしている方は、大変な状況の中でつながるということがとても必要で、特になんとかしている人はインスタライブをしている。インスタライブはコメントや雑談ができるので、店の売上げが上がった、公演が増えたという話も聞く。図書館でもインスタライブをするのはどうか。

○つながりたいという気持ちがあっても、以前みたいに人に会うことやつながることができなくなって、今社会的にすごくつながりたい。だから図書館がそういった場所にできるんだということを、SNS 等でアピールしておいて、ちょっとずつ解禁されてきたときに、図書館に行ってみようかという気持ちになるように、準備をしておくのがいいと思う。

●案件3 その他

【事務局からの報告等】

○令和3年度の主な事業は、案件1の子ども読書活動推進計画の策定、施設面で図書館の駐車場・進入路外灯のLED化、運営面で図書館のマーク(図書のデータ)の選定、図書管理システムの機器入れ替えです。

○令和3年6月議会の一般質問で、コロナ禍における利用状況、書籍消毒機の導入について質問がありました。

○次回の図書館協議会は10月～11月で開催予定。

8 審議会の情報	名称	図書館協議会
	根拠法令等	図書館法、図書館条例
	設置期間	平成6年4月1日～
	所掌事項	図書館の運営に関すること
	委員数	10名

9 担当課	図書館
-------	-----